

令和7年度 年度末反省個人意見・分掌部回答

R8.1.8

No.	管轄	項目	課題 (働き方WSについての詳細は別紙)	分掌部見解(類似項目を統合して回答可・セルを統合可)
S1	教務	掃除1班	週2回。火・金曜日に行く。(週の最終日と週の2日目。会議のときは簡単清掃)	「原則週2回、原則火曜・金曜に実施する。 この曜日で困難な場合もあるので、月予定表(家庭用含)に記載し、職員会議で協議する。」  ・各班の回数(時間の創出)、曜日固定(見通し・モチベ)、裁量制を論点に考えました。詳細は職員会議で口頭で説明します。
S2	教務	掃除2班	週2回。火・金曜日(曜日の固定)。裁量制で+0~3回(平均+0.5回程度になるよう)	
S3	教務	掃除3班	基本週2回で、月予定表で最初から行う日を決める。運動会前の汚れる時期などで週3が可能なときはそのようにする。	
S4	教務	掃除4班	3年間計画で育てたい。1年生は週3通常+他は簡単清掃。ゆくゆくは週2清掃+他は生徒自身が判断できるようになるよう。	
A1	教務	WS生徒会	行事予定での、専門・中央委員会の日程調整(負担をかけない委員会活性化を目指して)	専門委員会後の別日に中央委員会を実施するのはどうか。生徒会担当と協議して、その日を清掃なしにするなど、負担軽減と委員会活動活性化の両立ために柔軟に対応する。
A2	生活	WS生徒会	生徒朝会の充実(負担をかけない委員会活性化を目指して)	生徒会長のみならず、場合によっては各専門委員長をステージ上で待機させて緊張感と責任感を持たせるようにする。また、月に1回の専門委員会ではなく、その仕事内容を各学級に持ち込むようにする。
B1	教務	WS作品展	作品展の日程調整(負担軽減を目指して)	作品展という会は設けず、学校公開や保護者会の時期に公開して、作品を掲示していくという路線で議論を行っている。必要に応じて公開日を適切に分散する用意はある。
B2	文化	WS作品展	展示方法(どれくらいの規模で)、展示時期(時期の分散)、展示場所(どこに貼るか)の検討(負担軽減を目指して)	これらの点について、今後アンケート実施などを通して検討・改善していきたい。また、教科ごとに負担度が異なるため、より多くの意見を聞いていく必要がある。
C	生活	WS部活動	練習時間の調整(円滑運営を目指して) 顧問が部員の意見をアンケート等で聞きつつ、練習時間を縮減・分散していく。	各部活ごとに開始時間が異なるので揃えるのは難しい。各部活ごとに開始してください。
D	教務	WS道徳	道徳等の時間割の調整(道徳等のコマの在り方の改良)	道徳移動の目的が教員間で統一できず、働き方WSでも収斂できていない。したがって現段階では方策提示が困難である。3学期中にもう一度アンケートを取り、目的が収斂しており、希望する職員が一定数いるのであれば、再検討する。
1	教務	教育課程	月曜1時間目の道徳はきつい。	目的は①他学年の道徳授業見学②午後道徳の需要③道徳50分間の確保などが想定される。 ①は「道・日・総・学」学年別にずらしても、担任は道徳を見られない。②水5はカットが多いので18単位時間必須の日本語が最適。木6金6は、避難訓練や学年行事などの利便性が高く、道徳時間の確保に不適。そのため道徳は月1が最適と考える。③よって、道徳は月1で朝会の延長しない工夫に引き続き注力する。①が目的ならば、学年内で副担対応などし、自主的に道徳見学してほしい。ただ今後のアンケートの要望に応じて柔軟に考える用意はある。
2	教務	教育課程	道徳の月1を水5にしてほしい。	
3	教務	教育課程	朝読書カット。毎日特別時程が理想。(R8より朝読書実施は任意となる by区教委)	太子堂調理場の毎日早出しができず、朝読書時間の繰り上げは不可能である。特別時程は次年度も今年度と同等程度実施予定。そのため、2年は朝新聞があるため読書の時間が十分に確保できないが、1・3年に関しては朝読書の習慣がついている。次年度も朝読書をベースとし、各学年で柔軟に対応してほしい。
4	教務	教育課程	授業カットが特定の時間が多いように感じた(月6、毎日56など)。かなり念入りに確認いただいている上でのカットだと思うので仕方がない気がしますが、どうにかありませんか。	均等にカットできるよう、引き続き取り組んでいく。教員間の取引で対応していただき、どうしても困難な場合、申し出があれば可能な限り善処する。
5	教務	教育課程	授業コマは適切に置く努力がされている。毎週時間割の用紙を配布されることで、授業の売買がやりやすくなっている。	
6	教務	教育課程	チャイムが実際の時間より早く鳴る。1分弱ではあるが、朝のこの時間がとても貴重な人もいます。	解消済み。チャイム機械が古いので教室の電波時計との差が開く。定期的に調整する。
7	教務	校務システム	出欠のカウントは担任入力にしてほしい。	出欠入力の係は、学年内で柔軟に対応してよい。C4thは世田谷区が数年前より導入し、他区へのシェアも拡大している。
8	教務	校務システム	C4thの使い勝手はあまりよくない。改善はできないのは承知ではあるが。	
9	教務	校務システム	校務用PCがインターネットに接続できない。	暫定的には今でも可。R10目途に学習系と統合計画あり

10	教務	働き方	ペーパーレス化は大賛成。でも大事なプリント(時間割変更、テスト監督表など)は紙で配布してほしい	ペーパーレス化推進のために、職員会議以外での情報共有にも使用するの、逐一確認してほしい。ただ重要なものは、朝打ちでの連絡や前ホワイトボードへの記入で周知する。
11	教務	働き方	ペーパーレス化のおかげで、情報を確認できて助かっている。	
12	教務	働き方	AIが集約した会議の議事録はわかりやすいと思いました。	情報共有の風通しを良くする取り組み(実りボード含)を継続する。
13	教務	働き方	働き方改革が皆で考えていけるように課題を共有できるとよい。	校内全体に関わる働き方改革は、各分掌で問題提起をし、職員間の対話と議論を通じて決定してく文化を醸成する。
14	教務	働き方	働き方改革の意識。「楽する=悪いこと」という意識では改革は進みません。「楽をする=心の余裕」くらいでないと。何をしないか。何をやめるか。	
15	教務	働き方	穏やかな職員室の中で、様々な人の意見を聞く姿勢や、職員に同意を求める活動に新しい働き方を感じている。今後も働きやすい環境をつくっていききたい。	
17	教務	働き方	働き方改革で報われない教員が中にはいる。全体できちんと改革して、できたかどうかを意見交換や情報共有する。	
16	教務	働き方	掃除の回数は議論の最中だが、それとは別によく掃除をする生徒である。怠ける生徒もほほいないので、短時間の清掃活動を推奨したい。	
18	教務	学び舎	駒繫のアップル祭りは勉強になりました。	掃除の在り方の結論(教務案)が合意されれば、それで進めていく。  ・ご意見は確かに承りました。本校の意思だけでは決められず、4校の合意形成に努力する。区教委から学び舎の活動の軸を「非認知能力育成」にするというビジョンが掲げられており、響きの学び舎ではこれに沿って活動を行った。職員全員参加の合同研修では、生徒情報交換は困難であり、別の機会を設ける必要がある。 ・朝の挨拶運動は、教務部主催で中央委員会生徒を各校に分担して各校3日ずつで実施した。各校3日実施することへの教育効果(小中学生間の交流)は大きく、担当教員を分担し、勤務時間変更で対応すれば、働き方改革の趣旨からも外れない。挨拶運動を廃止し、別行事を考案することの方が負担が大きく、小学校との合意形成も難しいので、今年度通りが適切だと考える。
19	教務	学び舎	学び舎の負担が大きい？合同研修や挨拶運動など	
20	教務	学び舎	学び舎は無理に何かを一緒にやろうとしてひずみが生まれている。もっと児童生徒の情報交換会を密にしたほうが良い。	
21	教務	学び舎	合同研修で、小学校の生徒と中学校へ来た生徒の情報交換ができる時間があるといいと思う。	
22	教務	学び舎	本来の小中連携の本質から離れた研修になっている印象。区の縛りが思ったより大きい。	
23	進路	キャリアパス	キャリアパスの見直し。新しい意見や他校の様式を比較してバージョンアップをするべき。生徒への渡し方も、三者面談時に記入内容を話題にしながら渡すなど一部学年で実施した。その意義も保護者に伝わる。	三者面談時の活用など参考にさせていただきます。他にも案があれば教えてください。
24	進路	キャリアパス	キャリアパスポートの在り方について考え、話す時間をもう少しとったほうが、よりよいものができそうだと思います。	「話す時間」というのは、職員間での話し合いということでしょうか？キャリアパスについてのご意見や提案があればぜひ教えてください。
25	進路	キャリア教育	今年度の2学年は、職場体験が1学期にあり、2学期に大きな行事がなく、総合の時間の使い方を考えないといけない。来年度も同じであれば、2年2学期にどのようなことをするのかをキャリア教育計画において考える。	来年度も職場体験は7月に実施予定です。年度初めに学習進路部や2学年で2学期の計画を立てるようにします。特に11月ごろが閑散期かと予想されるので、その時期に上級学校調べなどのキャリア教育を重点的に取り組めたらと思います。
26	進路	キャリア教育	2年2学期の総合の取り組みがない。今年はまだまデフリンピックがあつたが、次年度以降進路部で考えるとよい。例えば、近隣の総合大学(駒大、農大、国士館大等)に大学巡りを行うなど、高校より先の体験ができるとよい。	ご提案ありがとうございます。キャリア教育の一案として検討させていただきます。
27	進路	キャリア教育	職場体験は7月がよい。1年で校外学習がないのはさびしい。キャリアパスは高校への提出は不明なので、そこまで力を入れなくてもよいのでは。	1年生では河口湖移動教室があるので、新たに校外学習を行うのは難しいかと考えます。職場体験は来年度も7月に実施予定です。
28	進路	研究	研修に不登校対応について年間1回はやらせてください。	ご提案ありがとうございます。来年度の校内研修計画に入れる予定です。
29	進路	研究	研修にQuの活用を。講師を呼んで一度研修ができれば。	
30	進路	研究	次年度以降も校内研修チームを使って運営してほしい(研究主任の孤独感軽減)	来年度も研修チームの創設を管理職にぜひお願いしたいです。
31	進路	研究	研究推進校として研究主任の近藤先生のもと、有意義な研修をすることができた。	引き続き校内研修へのご協力をよろしくお願いいたします。
32	進路	研究	教員間で研究に対して熱量に差がある。研究委員会を中心にこまめに推進していく。	研究委員会でも引き続き情報発信や研修機会の充実を図っていきます。先生方もぜひご自身の研究と修養に努めていただければと思います。
33	進路	研究	非認知は毎度新しい内容の研修を考えていただいている興味深く思っています。もっと全体が参加できる方法はないか(授業観察など)。そこが課題だと思っているのですが、改善策がわからずすみません。	職員全体が積極的に参加できる方法について、研究委員会でもさらに検討していきます。新たなご提案あれば教えてください。
35	進路	研究	非認知能力を本気で身に着けるのは1年では難しいと思いました。3年は必要かも。また生徒への説明・理解と生徒がポイントポイントで非認知能力の自己評価をする時間をとる必要もあると思います。	ご意見の通りで、1年で結果が出るような能力ではありません。継続的に取り組んでいきましょう。

36	進路	研究	非認知研究を通して、研究メンバーが色々と調べてくれ、ミニ講習や話し合う場を提供してくれたことで、自分の授業を見直す良いきっかけになりました。また話し合う場で、現状について考え、よりよい教育活動になるように考えたり、意見を出したりして、少しずつ変化しているのがいい。対話が大事だと思いました。	ご意見ありがとうございます。多忙な中ではありますが、引き続き良い研修になるよう今後もご協力をお願いします。
37	進路	研究	研究のミニ研修は良い取り組みだと思う。	
38	進路	学習指導	学習の定着度合いについて、紙とICTどちらが学習的に効果があるか検証していく。	どちらもメリットデメリットあると考えます。良い検証方法があれば教えてください。
39	進路	進路指導	3年進路は良い意味でももっと職員室でオープンにして、他学年の教員まで巻き込んでください。	今後ぜひ巻き込ませてください。
40	進路	定期考査	定期考査時の別室監督試験の答案の扱いについて再考したい。	今年度から別室受験者の問題は専用の封筒で管理し、答案は教員間で直接手渡しということにしています。答案の受け渡しについて来年度は答案専用の封筒やクリアファイルに入れてスクールサポートスタッフ机脇の引き出しに確実に入れる、という対応を考えています。
41	進路	定期考査	考査結果のデータ処理について、平均点だけでなく点数のヒストグラムも配布したい。保護者目線で見たら、本校のデータではテスト反省が満足にできない。	進路部としては、ヒストグラムを出すことのメリットよりもデメリットのほうが上回るのでは、という見解です。配布した後に個別に学習指導の対応がどの程度できるのか、また、得点によってはある程度の順位がわかることが別の対応を生むのではないかと、など検討すべきことがあると考えます。現時点ではヒストグラムを配布することは考えておりませんが、ご意見ありましたらお声がけください。
34	進路	道徳	道徳学活総合日本語は、学級単位でなく学年単位で行うことを増やす。そうすればわざわざ授業を見合うような時間を作らなくても見るチャンスが増える。勉強になると同時に負担軽減になる。クラスによる認識の違いもおきにくい。	学年単位で実施することのメリットもあるかと思います。学年で共通認識を図っていただき、適切に教育内容を実施していただければと思います。
42	進路	道徳	道徳年間を35回をしっかりと行うべきだと思う。道徳を総合や学活に振替えた際はその分をしっかりと行う	その通りだと思います。振り替えた場合も確実に実施しましょう。
43	進路	日本語	日本語の授業の実施、扱い方があいまい。	前年度の学年のフォルダや、学習進路部のフォルダに日本語の指導略案のデータがあります。参考にしてください。
44	進路	日本語	日本語の評価が学年末のみなのはありがたい	本当にありがたいですね。
45	進路	評価評定	学年評定の算出方法が各学期1:1:1という規定はない。それで各教科違っていいなら確認をすべき。	本校では各学期1:1:1という規定はありません。
46	進路	評価評定	評価評定は全学年一覧表をつくり、クロス集計を行い、不適切な数値にならないよう、教員の意識を高めるべきである。	一覧表と同等のチェックを学年ごとに行っています。不適切な数値が出た場合、個別にお声がけしています。
47	生活	安全指導	授業時以外の避難(休み時間など)の教職員対応について、再検討したほうがよいと思いました。	授業中はその場にいる人、各学年フロアを担当する。副担は南校舎担当。
48	生活	安全指導	現実に近い避難活動をするべき、速く逃げればよいだけでなく、逃げ方の確認や、イレギュラーなケースも考えるべき。また教員の動きも細かく確認するべきである。	比較的实施していると思うので、具体的なものがあれば教えてください。
49	生活	安全指導	救助袋を出す作業を大人(教員)でやったことがない。利用する可能性を考えて訓練しているのであれば研修すべき。	必要と考えます。
50	生活	安全指導	救助袋が古すぎるからなのか、設置に時間がかかりすぎてしまった。	その通りです。
51	生活	生活指導	標準服の定義にネクタイ・リボンの追記をお願いします	生徒手帳には記しています。衣更えのプリントには追記しました。
52	生活	生活指導	制服の規約があいまい。冬服の在り方を見直して、正しく書いてほしい。	今一度確認願います。(指導の入る生徒とそうでない生徒)
53	生活	生活指導	儀式以外でのネクタイの着用はなくてよい。普段の着用はなくてもよい。世間もそういう流れ。	管理職判断でお願いします。
54	生活	生活指導	年度替わりの教室整備。経年劣化以外の不備。生徒の大掃除、担任任せでなく、学年教員によるフロア全体の確認(らくがき、破損など)	各学年でいたずら書きや破損箇所の点検をお願いします。
55	生活	生活指導	生活指導が必要な場面も、1つ1つ丁寧に指導が行われていると思う。	有難うございます。
56	生活	食育	給食の残飯が多いのが気になる。好き嫌いが激しい生徒が多い。給食も有料に戻してもいいのでは。	生活指導部の判断はできません。

57	生活	食育 生徒会	保健衛生委員。衛生がいらないと思う。もしくは保健給食委員に変更するとエプロンの管理や食育的アプローチがしやすいと思う。	変更しても良ければ変更する。
58	生活	生徒会	生徒会役員の定数。学校規模を考えると5名か。専門委員会の男女枠は委員会にもよるが男女枠でなくてもよい委員会もある。	再考する時期に差し掛かってきていると思うので、賛成意見が多ければそうしていてもいいのでは？
59	生活	生徒会	せっかくいろいろなことをやってくれるので、生徒会の活動をもっと生徒や地域にアピールしてもいいのでは。生徒会の生徒たちが新聞をつくるなど。	物理的に厳しい。
60	生活	生徒会	掃除用具や黒板消しクリーナーが使いづらくなっているものが多くなっている。委員会などでチェックしてもらえるとありがたいです。	事務的に可能ならば。
61	生活	生徒会	生徒会活動は派手にならないよう、担当がうまくやっているように思う。専門委や中央委の時間を十分にとってくれるともう少し余裕がある活動ができる	各委員会で対応願います。中央委員会は改善していきます。
62	生活	特別支援	不登校保護者への連絡方法頻度が担任によって差があると、進級後に学校への不信感につながるケースが他校でみられる。担任以外の教職員が関わる対応を。不登校対応を支援員任せにならないような対応をお願いしたい。	個々によって対応を考える必要がある。
63	生活	特別支援	YouRoomやオンラインはどこまで進めていいのか。安易に進めるのもおかしいと思っているのですが。勉強をする姿勢をみにつけるのが目的？学校に来れることが目的？そこが知りたい。	個々によって対応を考える必要がある。
64	生活	特別支援	youroomの生徒への学習支援、空き時間になかなか行ってあげられない。	有難うございます。
65	生活	特別支援	オンライン授業は個人情報の問題がある。実施はより慎重にしないといけない。	区教委に答えて頂きたい。
66	生活	特別支援	不登校対応やオンライン授業の要求がだんだん高くなっている。できないことはできない。安易に特例をやってしまうとあとで大変になる。	その通りです。
67	生活	特別支援	本校の特別支援、不登校支援は本当に手厚いと思う。	有難うございます。
68	生活	部活動	部活動顧問は適材適所をお願いします。	管理職判断をお願いします。
69	生活	部活動	部活動の最終下校時刻が守られていない。	最終下校時刻は、各部で守ってください。
70	生活	部活動	部活動の地域移行が進めにくい。	管理職判断をお願いします。
71	生活	部活動	部活動活動時間のガイドラインの厳守を。	生活指導部では判断できません。
72	生活	部活動	行事があった学年の部活動について。基本的に行事がある学年(郊外活動など)は部活は休養とる上でも休みとする。	基本はそうしていきませんが、大会前などは各部で配慮願います。
73	生活	部活動	顧問の先生方は一生懸命取り組んでいると思う。早く地域移行があれば良いなど願っている。	そうですね。
74	体育	運動会	運動会はもう少し縦の連携がほしい	縦割りでの関わりは時間数的に難しい？教務との相談も必要。
75	体育	運動会	運動会の計画があるようでない。その場で方針がいろいろ変わるから体育科以外が置いて行かれる。	コミュニケーションをとりましょう。
76	体育	運動会	運動会の生徒と教員の情報共有が課題	
77	体育	運動会	その行事の委員になっていないと、どのように動いているのか、どのように決まったのかわかりづらいところがある。	
78	体育	運動会	運動会の選手名簿の公表を早くすれば、様々な問題点の解決につながると思う。	様々な、というのがわかりませんが、選手名簿は作成手順を検討中です。ロイロを活用したいと考えています。
79	体育	運動会	運動会では、体育委員は専門委員ではなく、体育実行委員などの特別委員とし、クラス委員の定数減を	体育的行事委員会では判断しかねます。
80	体育	運動会	運動会の学年練習(体育委員への指導)は学年教員で行うほうがいい。体育行事委員会は方針を示すのみでよい。学年教員との分業を制度化する。合唱コンは今年度分業で行いました。	希望は学年によって変わるかと思いますので、学年教員と体育科のコミュニケーションを密にとってください。学年として育てたいこと、どんな運動会を作りたいのか、すり合わせが大切です。

81	体育 文化	運動会 合唱コン 作品展	クラス旗、めくりプロ、作品展制作について、働き方改革で削減したが、手間をかけずにできる取り組みがあるのでは。ICTを使用すれば放課後活動を少なくすることも可能では。	運動会→外で実施することを考えると代案が難しいです。あれば教えてください。 合唱コン→取り組ませる＝“時間や人”がつきものです。実務の量や質が増えている中で、“手間をかけずに”というのは難しいです。あれば意見を教えていただきたいです。“合唱を披露するコンクール”という目的が変わらなければ、令和7年と同様に進めます。
82	体育 文化	運動会 合唱コン 作品展	いつも同じ担当係が仕事を回している。輪番制などにするとよい。	運動会→今年度の監察については、全員が今年度異動してきた方々でした。その点に関しては問題があったと思います。ご迷惑をおかけしました。輪番制にしてしまうと効率が落ちる部分があるので、適材適所を考えつつ、今回のようなことがないように係分担を精査していく必要があると思います。 合唱コン→業務内容を担当係以外の方にも周知する。具体的にはC4thやホワイトボードなどを活用し、情報の透明性を図っていく。
83	文化	合唱コン	CDデッキの配布、キーボードの管理で教員側で把握できなかったことがいくつかあった。デッキのコードがない、キーボードの管理はクラス毎？自由など？	CDデッキの配布やキーボードの管理場所について、朝打合せやC4th、ホワイトボードなどで情報発信をしていきます。また、CDデッキとキーボードの不具合については必要な個数を確認した上で来年度に購入します。
84	文化	合唱コン	合唱コンの練習時間の確保が年々難しくなっている。学校全体の練習期間の前から、余裕のある総合・学活などの時間を計画的に使う。	授業時数や教務の都合上、練習時間の確保が難しくなっているのは事実です。決められた練習期間内で生徒が取り組めるかどうかを改めて考えなおしていき、来年度は学級や学年のレベルにあった曲を設定していきます。
85	文化	合唱コン	合唱コンクールの練習日程を増やす。	同上。また、ホールを予約する際、一般の方を含めすべて抽選形式となっていますので希望する日程がとれない場合があります。ご理解いただけますと幸いです。引き続き、文化的行事委員と教務で設定した練習期間と時間で練習するようお願いいたします。
86	文化	合唱コン	合唱コンの練習期間が短い？来年度は今年よりも早い実施なので注意が必要かも	ホールの実情や生徒の実態などを考慮したうえで、来年度以降から合唱コンクールの内容を変えていきます。新年度が始まる前までに文化的行事委員会で検討し、まとめた内容のものを3月末または4月頭に共有します。その後は職員全体で話し合い、決定づけていきます。
87	文化	合唱コン	合唱コン。その行事の委員になっていないと、どのように動いているのか、どのように決まったのかわかりづらいところがある。職員会議で確認する時間をもう少し増やしてもいいかなと思いました。	C4th上での情報共有や職員会議などで駒ルネの進捗状況を報告していきます。
88	文化	作品展	作品展開催による授業のやりずらさ。作品展示は2月に一斉ではなく、教科、学年ごと、展示の可否、時期を考慮する	B2(1ページ目)の回答と同じです。
89	文化	作品展	作品展の実施の是非、その方法をゼロベースで審議したほうがいい。運動会や合唱コンの内容が削れないのであれば。	
90	ICT	ICT	パソコンで授業をさせてほしい。テレビをタッチペンが使えるテレビに	PC室の1台を授業用に再設定して貸出可とします。多目的室の大型TVがタッチパネル対応タッチペンもあります)となっています。ご活用ください。
91	ICT	ICT	異動してきた教員で、ChroombookからiPadになった者にとっては、使い勝手が全く違うので、この学校では何ができそうで、どうやってやれるのか、学べる場やプリントがあると良いと思う。	ICT支援員さんのレクチャー講座の企画を検討します。支援員さんになるべく職員室にいていただき、質問しやすいようにしていただきます。